

“令和の家電 三種の神器”決定！

「4K/8Kテレビ」「冷蔵庫」「ロボット掃除機」

テレビの使用頻度は高く、コミュニケーションツールとしての利用が明らかに

パナソニック株式会社（本社：大阪府 代表取締役社長：津賀 一宏 以下、「パナソニック」）は、全国の20代～60代の男女600名を対象に「家電のトレンドや需要とテレビの使用」に関する調査を実施いたしました。

<TOPICS>

- ◆ 「令和の家電 三種の神器」4K/8Kテレビ・冷蔵庫・ロボット掃除機。4K/8Kテレビが全世代トップ！
- ◆ 4K/8Kテレビ・ロボット掃除機・スマートスピーカーなど話題の最新家電の普及はこれから！？
- ◆ 今後購入したい家電は1位は4K/8Kテレビ！
- ◆ 75%の人はテレビ番組を毎日見ている！インターネットコンテンツの視聴も増加傾向
- ◆ テレビもコミュニケーションツールの1種！？20代の夕食時、家族との会話はテレビの話題が7割！
- ◆ 趣味のために家電を買うときは「生活の豊かさ」が求められている

「令和の家電 三種の神器」4K/8Kテレビがどの世代でもトップに！

家電における三種の神器は「豊かさや憧れの象徴」として、その言葉が用いられていますが、「令和の家電 三種の神器」と聞いて思い浮かぶものをあげてもらった設問をしたところ、「テレビ（4K/8K）」「冷蔵庫」「ロボット掃除機」の3つが選ばれました。

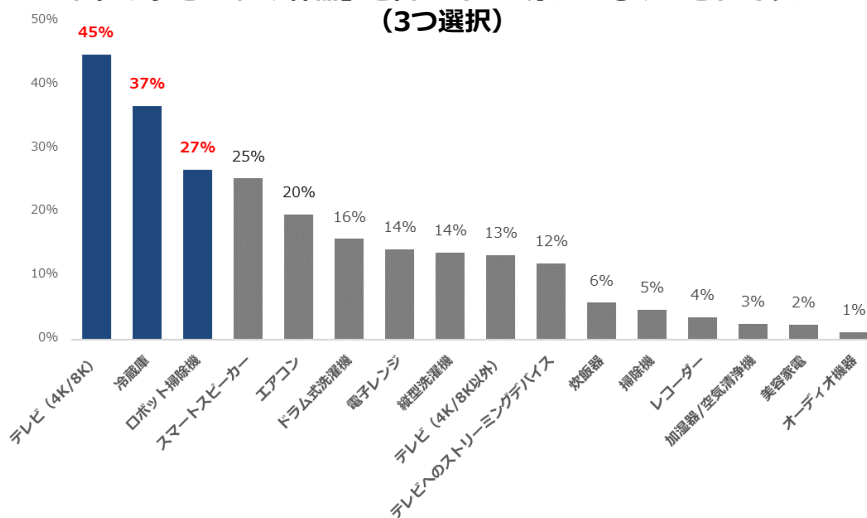
「令和の家電 三種の神器」
テレビ（4K/8K）
冷蔵庫
ロボット掃除機

トップに挙がったものは、「4K/8Kテレビ」で、全世代で1位にランクインし、2位と約10%近い差がつく結果となりました。2018年12月より「新4K8K衛星放送」が開始したことで、2019年は本格的にさまざまな4K8Kコンテンツを楽しめるようになってきました。また、2019年はスポーツの国際大会も多く開催されており、お家でスポーツ観戦を高画質で楽しみたいという需要の高まりが、憧れの家電として挙げられたのではないのでしょうか。

2位は「冷蔵庫」36.7%という結果に。冷蔵庫は食生活を支える生活必需品ですが、近年の共働き世帯の増加に伴い、まとめ買いやホームフリージング、作り置き保存が増え、大容量で鮮度よく保存できる最新機能を搭載する機種への高い関心や、冷蔵庫がキッチン空間において存在感のあるものだけにデザイン性の高い機種への憧れもあると考えられます。

3位は「ロボット掃除機」26.7%で、共働きの世帯が増えていることで、日中留守の間に掃除を済ませたい、という需要の現れかもしれません。

「令和の家電 三種の神器」と聞いて思い浮かぶものはどれですか？（3つ選択）

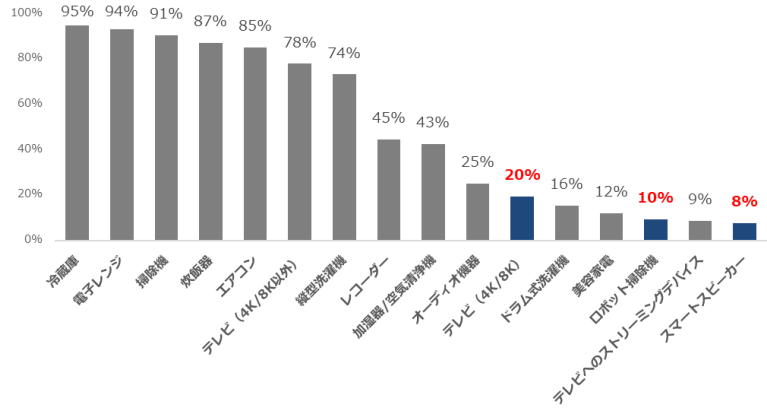


（年代別）「令和の家電 三種の神器」と聞いて思い浮かぶものはどれですか？

【20代】		【30代】		【40代】		【50代】		【60代】			
1	テレビ（4K/8K）	39%	1	テレビ（4K/8K）	49%	1	テレビ（4K/8K）	42%	1	テレビ（4K/8K）	52%
2	冷蔵庫	36%	2	スマートスピーカー	36%	2	冷蔵庫	39%	2	冷蔵庫	36%
3	ロボット掃除機	23%	3	冷蔵庫	33%	3	スマートスピーカー	24%	3	ロボット掃除機	30%

「家庭で所有する家電」に関する設問において、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機などが上位に位置しています。しかし、4K/8K放送が開始し、ニュースなどでも話題になっている4K/8Kテレビや、いまでは各社からさまざまな種類が発売されているロボット掃除機など、最新家電というポイントでみると、現時点の所有率は他の家電と比べると高くないことが明らかになりました。さらに、最近話題のスマートスピーカーについても所有している人は8%しかおらず、認知は広まってきていますが、所有という観点でいうと、これからということになりそうです。

あなたのご家庭で所有する家電はどれですか？

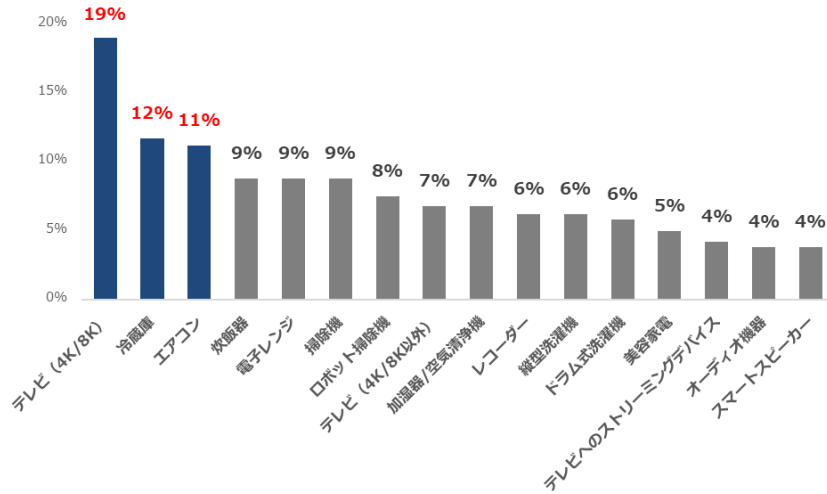


今後購入したい家電は4K/8Kテレビ！

「最近、購入を検討している家電」に関して聞いたところ、1位4K/8Kテレビ、2位冷蔵庫、3位エアコンという結果に。現在、4K/8Kテレビを所有している割合は低いものの、需要の高さが明らかになりました。内訳をみると、60代が25%と最も高く、次いで20代と30代が20%という割合に。若い世代の最新家電への関心の高さがうかがえます。

一方冷蔵庫は、20代の需要は低いものの、30代以降の割合が13%前後と一定の需要をみせています。「令和の家電 三種の神器」にも冷蔵庫は入っていましたが、日々の使用頻度が高く、生活するうえでの必需家電でもある冷蔵庫は、常に最新の機種への需要が高くなっていると考えられます。

最近あなたが購入したいと考えている家電はありますか？

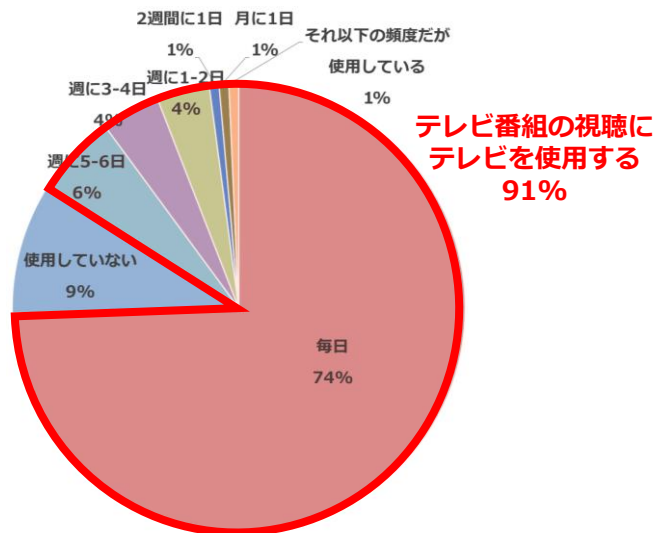


(年代別) 最近あなたが購入したいと考えている家電はありますか？

【20代】			【30代】			【40代】			【50代】			【60代】		
1	テレビ (4K/8K)	19%	1	テレビ (4K/8K)	19%	1	テレビ (4K/8K)	16%	1	テレビ (4K/8K)	16%	1	テレビ (4K/8K)	25%
2	電子レンジ	13%	2	掃除機	13%	2	冷蔵庫	13%	2	冷蔵庫	13%	2	冷蔵庫	13%
	加湿器/空気清浄機		3	冷蔵庫			3	エアコン	10%	3		エアコン		3

【テレビの使用頻度】テレビ番組（地上波など）の視聴

最近では、インターネットコンテンツやその他娯楽の急激な普及により、「テレビ離れ」というキーワードも聞くようになってきました。しかし、今回の調査結果では約75%もの人が「毎日地上波などのテレビ番組を見ている」ということが明らかになりました。さらに、「毎日ではないもののテレビ番組を視聴する」と回答した人も含めると、90%以上がテレビを使用して地上波などのテレビ番組を視聴しており、現在もテレビは生活のなかで使用頻度の高い家電の1つである、ということが言えそうです。

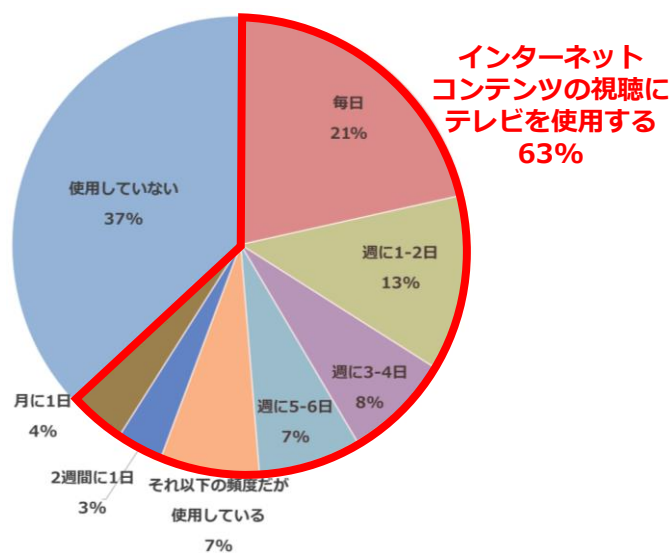


【テレビの使用頻度】インターネットコンテンツ（YouTube、Netflixなど）の視聴

YouTubeやNetflixといったインターネットコンテンツが普及し、映画やスポーツなど、さまざまな高画質なコンテンツをお家で手軽に楽しめるようになってきています。

「テレビにおけるインターネットコンテンツの視聴頻度」に関する設問において、「使用していない」という割合が37%で最も高かったものの、2番目に多いものは「毎日」という回答の21%で、今回の調査によると、63%の人はテレビを使用してインターネットコンテンツを楽しんでいることがわかりました。

地上波などのテレビ番組はもちろんですが、今後インターネットコンテンツがさらに発展することで、よりテレビの使用頻度は増えるようになるかもしれません。



■参考) テレビエラ Digital FUN!

【4K疑問解決】Q：今、4Kでどんなコンテンツが楽しめる？
https://panasonic.jp/viera/digital_fun/content_4k.html

テレビもコミュニケーションツールの1種！？20代が家族と話す会話はテレビでの話題が7割！

家族や同居する人と、夕食を食べる際に話す話題に関して聞いたところ、1位は「その日にあったこと」でしたが、僅差で2位となったのは「テレビで流れているコンテンツ」という回答になりました。先の設問であったように、地上波などのテレビ番組以外に、インターネットコンテンツが普及しテレビを使用して楽しんでいる方が増加していることが要因と考えられます。

また、この設問では、20代の若い世代ほどテレビで流れているコンテンツに関して話していることが明らかに。若い人とコミュニケーションを取るときには、テレビで話題になっていることを話してみるのも、会話を盛り上げるきっかけになるかもしれません。

夕食を家族/同居人と一緒に食べるとき話している内容は？	
1	その日にあったこと
2	テレビで流れているコンテンツ
3	ニュースや話題になっていたこと

また、家電に対する意識を聞いた設問で、「今のあなたにとってなくてはならない家電」についてきいたところ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器がトップ3となり、食に関する白物家電が生活の上での必需家電としてあげられました。

生活するうえでの必需家電が食関連のものだった一方で、必需品ではない家電を買う理由についても聞いたところ、最も多かったものは「生活を豊かにするため」という回答でした。趣味や娯楽といった分野に属する黒物家電は、最低限の機能というよりも、“購入することで、いかに生活を豊かにできるか”、という点が商品を選ぶ際のポイントになっているのかもしれません。

なくてはならない家電はなんですか？

1	冷蔵庫	95%
2	電子レンジ	94%
3	炊飯器	87%

必須でない家電を
購入した理由はなんですか？

1	生活がより豊かになると感じたから
2	魅力的な機能があったから
3	経済的に余裕があったから
4	これまでかかっていた手間が省けるから
5	周りではやっていると聞いたから

アンケート概要

- サンプル数：計600名
- 調査対象：20代～60代の男女（性年代均等割り付け）
- 調査期間：2019年12月7日～8日
- 調査方法：インターネットリサーチ
- ※ 本調査では小数点第1位で四捨五入しているため、足し上げても合計数値が100%とならない場合がございます。
- ※ 調査結果をご使用の際は、「※パナソニック調べ」または「※パナソニック ビエラ調べ」と明記ください。

【参考】パナソニックのおすすめ4Kテレビ

ビエラ 4K有機ELテレビ GZ2000

東京2020オリンピック・パラリンピック公式テレビ



パナソニックは、プラズマテレビで培った自発光制御のノウハウと、液晶テレビで突き詰めた高画質エンジンの技術を結集し、高コントラストな有機ELディスプレイを採用した新たなビエラを誕生させました。高画質に加え音質面も強化。さらに洗練されたデザインと次世代のテレビにふさわしい仕様となりました。

【おすすめポイント】独自開発「Dynamicハイコントラスト有機ELディスプレイ」

従来の有機ELディスプレイ



明暗の差はあるがコントラストは低い

Dynamic/ハイコントラスト有機ELディスプレイ



明るシーンが、より高コントラストな映像に

GZ2000の有機ELディスプレイは、パネルの発光性能を向上させるためパナソニックが独自で設計した構造や素材、パネル駆動を採用した特別仕様。「漆黒から眩い光の輝きまでをリニアに再現する」という理想のもと、かつてのプラズマディスプレイで培った技術を研鑽し、開発陣自ら設計、自社の工場高精度に組み立てられたビエラの有機ELディスプレイ。有機ELの発光性能を引き出し、高コントラスト映像を満喫できます。

■ 参考）4Kダブルチューナー内蔵ビエラ GZ2000シリーズ [65v/55v]

<https://panasonic.jp/viera/products/gz2000.html>